

2011年4月20日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 IDC フロンティア

**IDC フロンティア、北九州データセンターからクラウドサービスを提供開始
～クラウドの複数拠点間分散やバックアップサイトへの自動切替も実現～**

株式会社 IDC フロンティア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：真藤 豊、以下 IDC フロンティア）は、福岡県北九州市のデータセンター「アジア・フロンティア」から、サーバーやネットワークの機能を貸し出すクラウドコンピューティングサービス（以下、クラウドサービス）である NOAH プラットフォームサービス（以下、NOAH）を、西日本地域からの提供第一弾として5月初旬より順次提供開始いたします。

IDC フロンティアのパブリック型クラウドである NOAH は、国内では先駆けとなる 2009 年 6 月から、国内データセンターでサービス提供を開始し、VMware と Hyper-V の両基盤による柔軟な拡張性、SLA99.99%の高可用性と広帯域ネットワークによるネットワーク定額料金、また専任担当による運用サポートを提供しています。

昨今、企業の IT システムは、事業継続やセキュリティ強化の観点において、自社での運用から災害などに強い堅牢なファシリティと安定した電力供給能力、またセキュリティ対策も行われているデータセンターで運用するケースが増加しており、データセンターで運用されるクラウドサービスも含めて、今後需要が高まるとみられています。

IDC フロンティアでは、首都圏・関西・九州の 9 箇所データセンターを運用しており、従来の首都圏での提供から、この度の西日本地域（北九州）を新たに加えることで、利用者はクラウドサービスの提供地域を選択できるようになります。また、広域負荷分散を実現するマネージド GSLB*サービスも利用することで、万一の大規模な災害や障害によりプライマリーサイトに影響があった場合、クラウドサービスとハウジングを組み合わせた、複数のデータセンター間での負荷分散やバックアップサイトへの切り替えを自動的にを行い、ダウンタイムを最小限に抑えることが可能です。



アジア・フロンティア（北九州）外観

IDC フロンティアは、インターネットデータセンターとして安心・安全なインフラ提供に努めてきました。今回、西日本から提供を開始する NOAH により、お客様の事業継続策の一助となるものと確信しております。今後もクラウドサービスおよびデータセンターサービスの拡充に継続して取り組み、お客様の事業発展の基盤となる情報資産の安心、安全を確保し、止まらない環境の実現に力を尽くしてまいります。

以上

* Global Server Load Balancing (広域サーバー負荷分散)

<参考情報>

●NOAH プラットフォームサービス

→ <http://www.idcf.jp/noah/>

●マネージド GSLB サービス

→ <http://www.idcf.jp/datacenter/managed/gslb/>

<企業情報>

【IDC フロンティアについて】 (<http://www.idcf.jp>)

社 名：株式会社 IDC フロンティア (IDC Frontier Inc.)

代 表 者：代表取締役社長 真藤 豊

事業内容：データセンター事業、ホスティング事業、IP ネットワーク事業、コンサルティング、システム構築・運営、その他

株式会社 IDC フロンティアは、日本のビジネスシーンの発展と活性化を支える情報技術基盤を提供しています。長年の経験で培った高信頼データセンターを全国 9 箇所で運用しており、SaaS/PaaS/IaaS に代表される高付加価値サービスの開発と提供に取り組み、ビジネスユーザーのクラウドコンピューティングやオープンプラットフォームの利活用を推進しています。

<サービスに関する問い合わせ先>

■IDC フロンティア カスタマーデスク

Tel : 0120-26-2725 (平日 9 : 00~17 : 00)

E-mail : service@idcf.jp

<リリースに関する報道機関からの問い合わせ先>

■IDC フロンティア 広報宣伝グループ

電話 : 03-4354-0155

メールアドレス : pr@idcf.jp

Twitter 公式アカウント: [idcfreality](https://twitter.com/idcfreality)